

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価				3950		小中学校特別支援教育派遣事業				教育委員会事務局学校教育部	総合教育支援センター
		中事業番号		1028								所属コード	540500
		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	4.5									小中学校の障がいの重い自閉症児や知的障がい児が在籍する特別支援学級やA D H D、肢体不自由児等の学習指導の向上及び中学校の生徒指導を側面から支援し、生徒指導の問題点の早期解決を図る。	特別支援学校適等の障がいの重い児童生徒の在籍増加に伴う特別支援教育補助員の配置により、個に応じたきめ細かな指導や、不登校や生徒指導など個別対応が求められる児童生徒の増加に伴う学校生活支援員の配置により学習指導体制の充実を図る。	
施策	3 一人ひとりの個性を伸ばし、すべての子どもが輝くまち												

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
特別支援学校入校適等の障がいの重い児童生徒や不登校や生徒指導など個別対応が求められる児童生徒の増加があり、各小中学校を支援する施策が求められた。		児童生徒数が減少する中、特別な支援を要する児童生徒数は年々増加しており、障がいの種類や程度也多岐にわたっている。事業開始時期以上に、個別対応が必要な児童生徒へのきめ細かな支援体制の充実が求められている。		今後さらに特別な支援を要する児童生徒の割合は高まり、個に応じたきめ細かな支援体制が求められるため、本事業に対する要望はますます高まり、今以上に高いレベルを維持する必要があると予測される。		保護者や地域、学校からは、特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな対応に必要な特別支援教育補助員や学校生活支援員の増員要望が数多く寄せられている。	

2 事業進捗等（指標等推移）				まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名		指標名		2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
				計画		実績		計画		実績		計画		計画		計画	
対象指標	特別支援学級数	学級			182		205		218								
活動指標①	支援員配置校数	校		70	50	70	50	70	50	70		70		70	70		
活動指標②	支援員採用者数	人		110	98	110	101	120	106	120		130		140	150		
活動指標③	特別支援を要する児童生徒数	人		1,550	1,857	1,600	1,934	1,800	2,200	1,900		2,000		2,100	2,200		
成果指標①	特別支援学級数に対する支援員の配置率	%		100	53	100	49	100	49	100		100		100	100	100	100
成果指標②	支援員年間指導日数（延べ）	日		22,660	22,167	24,720	22,783	24,720	23,518	25,800		27,950		30,100	32,250	22,660	26,780
成果指標③	支援員1人あたりの対応児童生徒数	人		14	19	14	19	15	21	16		15		15	15	10	10
単位コスト（総コストから算出）	特別支援を要する児童生徒数1人あたりのコスト	千円			127		132		146	167		169		171	172		
単位コスト（所要一般財源から算出）	特別支援を要する児童生徒数1人あたりのコスト	千円			127		131		145	166		168		170	171		
事業費		千円			319		462		2,713	4,328		4,328		4,328	4,328		
人件費		千円			235,736		253,883		317,794	313,883		333,883		353,883	373,883		
蔵出計（総事業費）		千円			236,055		254,345		320,507	318,211		338,211		358,211	378,211		
国・県支出金		千円			597		766		1,594	2,017		2,017		2,017	2,017		
市債		千円							0	0		0		0	0		
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円							0	0		0		0	0		
その他		千円							0	0		0		0	0		
一般財源等		千円			235,458		253,579		318,913	316,194		336,194		356,194	376,194		
蔵入計		千円			236,055		254,345		320,507	318,211		338,211		358,211	378,211		
		実計区分	評価結果	拡充	拡充	拡充	継続	拡充	拡充								

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
特別な支援を要する各学校の児童生徒や特別支援学級の状況を精査した上で、必要性の高い学校から順に特別支援教育補助員の配置を行った。また、小・中学校における不登校児童生徒数や学校状況を精査した上で、必要性の高い学校から順に学校生活支援員を配置した。		学級担任や教科担任の補助として特別支援教育補助員等を前年度より5名増の計105名配置するとともに、医療的ケア児対応看護師を1名配置したことにより、児童生徒の個に応じたきめ細かな指導を行うことができた。しかし、各学校からの配置要望には応えきれず、補助員の増員について検討・対応していく必要がある。		【事業費】 特別支援教育補助員は、令和元年度までは、事業費により臨時職員を雇用していたが、令和2年度会計年度任用職員制度導入により、臨時職員賃金分の事業費を減額し対応している。令和6年度は医療的ケア児1名増加により、訪問看護事業所へ業務を委託したことにより、事業費が増額となった。	
				【人件費】 特別支援教育補助員等は前年度より5名増の配置としたため、人件費は5名分の増額となっている。しかし、支援を要する児童生徒の増加には追いついておらず、教育効果は十分とは言えない状況であり、特別な支援を要する児童生徒へのさらなるきめ細かな指導のため、今後の補助員増員は必須である。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		(2) 事業継続性評価	
1 規模・方法の妥当性	4	代替事業（有）	
2 公平性	3	ニーズ（小）	
3 効率性	4	ニーズ（大）	
4 活動指標（活動達成度）	3		
5 成果指標（目的達成度）	3		

4 二次評価

(1) 事業手法評価		(2) 事業継続性評価	
1 規模・方法の妥当性	4	代替事業（有）	
2 公平性	3	ニーズ（小）	
3 効率性	3	ニーズ（大）	
4 活動指標（活動達成度）	4		
5 成果指標（目的達成度）	4		

拡充	一次評価コメント
当該事業は、障がいにより、個別の支援を必要とする児童生徒に対して特別支援教育補助員等を配置し、学習指導体制の充実を図る事業である。 令和元年度以降、補助員の配置校数については、増減はないが、特別な支援を必要とする各小中学校の児童生徒数が年々増加しており、特別支援学級の数も増加している状況にある。一方で、支援員採用者数については、令和6年度は令和5年度から5名増加となったものの、支援員1人あたりの対応児童生徒数が減少せず負担が大きい状況が続いている。 本市は他の中核市と比較し、補助員の配置数は少なく、十分な教育効果を発揮するには環境の整備が追い付いていない。また、個々に応じた指導や支援の必要性と併せて、障がいのある児童と障がいのない児童が共に学ぶ仕組みである「インクルーシブ教育システム」の推進も求められている点を鑑み、特別な支援を要する児童生徒に対する充実した支援環境の構築は急務であることから、拡充して事業を実施する。	

継続	二次評価コメント
令和6年度は、特別支援教育補助員等を前年度より5名増の計105名配置するとともに、医療的ケア児対応看護師を1名配置し、特別な支援を要する児童生徒に対する援助及び学校適等の生活指導上の課題を抱える児童生徒への支援を行った。 事業費の増加の要因は、補助員等の増員に加え、新たに医療的ケア児の増加に対応するため訪問看護事業所へ業務委託を実施したことによるものである。補助員等は増員しているものの、特別支援学級数が増加しているため特別支援学級数に対する支援員等の配置率は横ばいである。 個々に応じた指導や支援の必要性と併せて、「インクルーシブ教育システム」の推進も求められている点に鑑み、今後も継続して実施することとするが、支援員等の配置人数の適正性については、学校からの要望を精査の上、必要人員数が十分に分析し、効率的な配置について検討する必要がある。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X （デジタル市役所）	部局間協賛
		○

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画